

豊橋市マスコット
「トヨッキー」

豊橋市 市民協働推進 補助事業

平成26年度



オレンジプラザマスコット
「アーリーくん」

平成26年度 豊橋市市民協働推進補助金 事業報告会

平成27年6月30日（火）9時45分～

豊橋市役所 市民ギャラリー

目 次

補助金の種類	団体	事業	頁
つつじ	金田住宅ふれあいサロン世話人会	金田住宅ふれあいサロン	1
つつじ	フォレストヒル ウーマンズ コミュニティ	子育て世代の女性のためのコミュニティ事業	2
つつじ	豊橋ふれあい子ども将棋教室	第1回豊橋ふれあい親子ペア将棋大会	3
つつじ	豊橋野草保存会	未来に残そう！絶滅危惧種ミノコバイモ	4
つつじ	特定非営利活動法人 てら	フリースクールてら キッズマルシェ	5
くすのき	二川・大岩まちづくり協議会	灯籠で飾ろう二川宿	6
くすのき	石巻西川町カタクリ山保存会	明日も咲かそうカタクリの花	8
くすのき	R I N R I N ♪豊橋アレルギーっ子の会	みんなで知ろう食物アレルギー	9
くすのき	あにまるあいず	野良猫を減らし、街づくりを行う。猫の殺処分頭数を減らす。	10
くすのき	特定非営利活動法人 オアシス G・J・B	在宅高齢者のふれあい健康増進コミュニティ	12
くすのき	特定非営利活動法人 福祉住環境地域センター	第7回ゆいフィールコンサート	13
くすのき	豊橋外国人児童生徒教育研究会	外国人の子どもの教育支援ネットワーク作り	15

・つつじ補助金 設立後5年未満 補助率 10/10 上限 5万円

・くすのき補助金 設立後2年以上 1回目 補助率 2/3

2回目 補助率 1/2

3回目 補助率 1/3 3回とも上限 30万円

(平成24年度以前に1回目の交付を受けた事業は3回とも補助率 1/2)



事業名	金田住宅ふれあいサロン
団体名	金田住宅ふれあいサロン世話人会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>①月に一度、ふれあいサロン開催。年12回。参加者483人。 内容 歌・踊り・ビンゴゲーム・参加者自己紹介・誕生日のお祝い等</p> <p>②月に一度、ミニサロン開催（H26.10～H27.3）。6回。参加者120人。</p> <p>③出前講座の開催。 H26.7 特殊詐欺にあわないために。 講師 豊橋警察署 生活安全課長 参加38人。 H26.10 認知症予防講座 講師 豊橋市役所 長寿介護課 石巻校区自治会・地区民生委員協議会との共催 参加者 105人（2回にわたっての延べ人数）</p> <p>総事業費：208,071円（内補助金：50,000円）</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者から「毎月の集まりが楽しみで生活に張りがで健康になった」と喜ばれている。 ・参加者が自分の周りに心を配り、支援が必要と思われる人の情報を寄せてくれるようになり、2年間孤独死が発生していない。 ・月に一度では残念との声を受け、開催日を一日増やして、脳トレゲームや健康体操に取り組むようになった。
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・より内容を充実させて魅力のあるサロンにするため、勉強を重ね参加者を増やしていく。 ・世話人一人一人の力をもっと発揮してもらい、経費を節減できるように工夫していく。



事業名	子育て世代の女性のためのコミュニティ事業
団体名	フォレストヒル ウーマンズ コミュニティ

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>第1回 7月22日 親子で挑戦 初めてのパン教室 7名参加 第2回 9月 6日 親子デジカメ教室 4名参加 第3回 10月16日 ペーパークイリング講座 21名参加 第4回 11月27日 リボン刺しゅうとミシンで作る小物講座 20名参加</p> <p>計4回、子育て世代の親子を対象に各教室・講座を開催。全ての教室・講座において、親子のふれあい、地域社会へのつながりを強くし、不安や悩みを解消することに努めた。</p> <p>総事業費：93,700円（内補助金：17,000円）</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>各回を通じて、2時間から3時間の間に、1つの物事に共に取り組み、製作することで会話が生まれ、子育ての話や悩みをお互いに話し始め、コミュニケーションをとっていた。</p> <p>結果、参加者の方々に笑顔が出て、不安や悩みの軽減につながったと考える。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>今後も継続的に開催し、地域の場として取り組んでいきたい。</p> <p>課題としては、まだ広報・宣伝活動に問題が残っているので、考えていきたい。</p>



事業名	第1回豊橋ふれあい親子ペア将棋大会
団体名	豊橋ふれあい子ども将棋教室

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>将棋を親子ペアで交互に指すことにより、親子や近隣地域の人々と盤上ゲームで熱く闘いながらも、対話し、一緒に考え、心の絆を作り、戦いが終わった盤外では、楽しく仲間同士の友好親睦関係を築きあげることができ、地域が密接につながり、相互の信頼が深められた。</p> <p>参加者全員が最初から最後まで（開会式から閉会・表彰式・記念撮影）イベントの進行に忠実に従い、一人も中座された方は見えなかった。</p> <p>参加者やギャラリー、応援団、スタッフ、議員、報道メディア関係者を入れて総勢77名に上がった。</p> <p>総事業費：118,700円（内補助金：50,000円）</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>新しいスタッフと出会い、活動範囲が広がった。</p> <p>将棋を通じてお友達になろうとする、潜在的な将棋愛好家族に出会うことができ、そのような方たちを発掘開拓し、新規の友好関係を持たたことは今回の目的に叶い、その意義は大きい。</p> <p>今後も、関係を維持しながら、将棋の普及発展に伴い、市民ちまた間に、より一層、このような美点効果を提供することが期待される。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>来年も今回の成果を糧に、さらにもう一步踏み込んだ内容で、浅く、深く広げて、定数枠を拡充し、自由参加型形式を取り入れたい。</p> <p>豊橋市から、親子将棋ペア大会の波 ブームを巻き起こすくらいの野心・意気込みで第2回目を開催したい。</p> <p>次回はアイプラザ豊橋の小ホールで、プロ棋士とそのお弟子を1人付き添えてやれるような規模で企画実行してみたい。</p>



事業名	未来に残そう！絶滅危惧種ミノコバイモ
団体名	豊橋野草保存会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>26. 9. 20：下草刈り 4名 刈払機、刈払鎌で下草刈りを行った。</p> <p>26. 11. 22：下草刈り 8名 刈払機、刈払鎌で下草刈りを行った。</p> <p>27. 2. 28：自生地周囲ロープ張り 1名 自生地周囲にロープを張り、立入禁止の札を立てた。</p> <p>27. 3. 22：開花状況調査 6名 調査しやすい自生地内の道上部の花や花が咲く前の幼葉の数を数えた。</p> <p>総事業費：55,084円（内補助金：50,000円）</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>自生地の下草刈りを行ったことにより、今年も例年並みの開花がなされたと思う。 道上部の開花数を数えた結果は、去年10株に対して今年は29株と増加した。</p> <p>ロープを張って観察者に注意喚起を図ったが、予算不足で立派なものを揃えられず、今年も侵入者による花や花が咲く前の幼葉の踏み荒らしがあった。</p> <p>そこで、自生地内に入らないように、自生地をインターネット等で公開しないようにチラシを作って見に来た人に配布し、啓蒙活動を行った。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>ミノコバイモ自生地の下草刈、ロープ張り、開花状況調査は今後も継続して行う。</p> <p>あわせて種を採取して絶えてしまった場所に蒔くことにより安定的維持を図る活動を行う。</p> <p>現在使用しているロープは自生地内に入り込む人を防止できず、今後どのようにしていくかメンバー内で協議する。</p> <p>自生地周囲は多くの人が立ち入れる環境にはないので、誰でも見に来やすい場所で公開できないか関係団体と協議する。</p>



事業名	フリースクールてら キッズマルシェ
団体名	特定非営利活動法人 てら

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>花園クリスマスイベント「まち暖イン花園」に12月6日に参加した。この活動には愛知大学の学生をはじめ、地域の方や高齢者の方も加わり、花園商店街が、市民の暖かい憩いの場となるように計画をした。</p> <p>当日は寒い日であったが、花園商店街に子どもたちの「いらっしゃい」という声が響いた。</p> <p>参加当日は、フリースクールの生徒3名、ボランティアの子ども11名。どの子も分け隔てなく、力を合わせてイベントに参加できた。</p> <p>イベントへの参加者も300人ほどで、寒い中ではあったが多くの市民が訪れた。</p> <p>総事業費：88,589円（内補助金：50,000円）</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>子どもたちのコミュニケーション力をつけるための社会体験の場として、花園マルシェに参加した。</p> <p>なかなか人前で話すことができなかつたり、家族以外の人と話をしたことがなかつたりする生徒も、ボランティアの子どもたちと一緒に作業をしたり、お客さんと話したりするうちに笑顔が出てきて、普通に話せるようになってきた。</p> <p>何より、作った豚汁を売り切ろうとか、五平餅を買ってもらいたいという思いの中で、自然と大きな声を出せるようになり、全部売れた時は、達成感を味わっていた。</p> <p>すぐに学校復帰という結果は望めなかったが、人と交わることへの抵抗は確実に減ってきたと思われる。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>12月という時期であったので、寒さによりお客さんが思ったより来なかったのは残念であった。</p> <p>また、不登校の子はもともと病気がちであったり、精神的に弱い面も見られる。生徒の気持ちを当日に向けて高めていき、当日の体調を万全に持っていくのは今後の課題である。</p> <p>今後も定期的にキッズマルシェを企画していく。子どもとボランティア、大学生、商店街の人たちとの交流を通して、不登校の子どもたちが人生の目標を持てたり、人と交わることに抵抗がなくなることを願っている。</p>



事業名	灯籠で飾ろう二川宿
団体名	二川・大岩まちづくり協議会

項 目	内 容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>「灯籠で飾ろう二川宿」も3回目を迎え、二川地区の夏のイベントとして定着してきました。灯籠を通して幼稚園児から住民すべてが直接参加できる祭りになっています。 今年は16,000人の参加がありました。</p> <p>幼稚園・保育園や小学校1・2年生のペットボトル灯籠、小学校3・4年生の竹灯籠、小学校5・6年生・中学校3年生・市民のマイ灯籠、協賛企業・商店の木製角灯籠、創作灯籠等、3,000余個の灯籠が二川宿の街並み1,500メートル両側に並びました。今回は、夜店やパフォーマンスなど食べたり、楽しめる企画も多く取り入れました。</p> <p>実行委員会 6回開催 延べ237名 幹事会 4回開催 延べ 29名 準備会(前日) 26. 7. 25 10:00~16:00 38名 準備会(当日) 26. 7. 26 9:00~18:00 70名 本番 26. 7. 26 18:00~22:00 130名 片づけ 26. 7. 27 10:00~15:00 52名 竹灯籠採取 26. 6. 21 9:00~13:00 16名 作業日(5月~8月末まで 毎週水・土曜日) 13:00~15:30 10~18名 反省会 26. 8. 24 13:30~ 44名</p> <p>総事業費: 1,287,669円(内補助金: 300,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>この事業も早いもので、3回目を展開することができた。「灯籠で飾ろう二川宿」のイベントも地域住民をはじめ多くの方たちに受け入れていただき、今回は町並みが大勢の見学者で覆いつくされました。また灯籠を作ってくれる園児、児童、中学生も楽しんで製作に参加し、当日は家族ともども和やかに見学に来ていただきました。</p> <p>このお祭りは、沿道の方々もマイ灯籠や創作灯籠を出していただくと同時に沿道に出て灯籠設置や点灯に参加していただきました。</p> <p>このお祭りが終わった後も、前芝町や湖西市新所原等からも相談をかけられています。</p> <p>この祭りを運営していく仲間も、地域だけでなく外の仲間も少しずつ増えてきています。地域の住民も増え、協賛していただける企業・商店も増えてきており、今後このお祭りを継承していける自信にもなってきました。</p>

<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取り組みなど)</p>	<p>平成26年度で市民協働推進補助金も終了です。これからは自己資金による活動になります。地域の住民、協賛企業・商店の協力が重要になってきます。</p> <p>お祭りもマンネリ化しないよう、他地域との連携や参加を仰ぎ「見て、食べて、遊んで」をテーマに進めていきます。</p> <p>今後の取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 現在活用できる灯籠をフルに活用する。 2) イベント・夜店等を増やし楽しめるものに。 3) 創作灯籠等をこれまで以上に、市民にアピールしていく。 (新しい形の灯籠の提案・参加) 4) 地域の団体等の取り組み(若い人の参加) 5) 協賛金をはじめ、資金の確保
---	---



事業名	明日も咲かそうカタクリの花
団体名	石巻西川町カタクリ山保存会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容)</p> <p>※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>カタクリ鱗形を雑草や水害から守り、植生地の崩落を改修・防止するとともに、見学者の安全やカタクリの花を守り、見学用遊歩道を持続的に保全する。さらに地域の活性化を図るための一助とする。</p> <p>平成26年5月から11月までは雑草の刈り取り、12月から平成27年3月までは枝の伐採、斜面管理、遊歩道の整備をしました。延べ63人の参加でした。平成26年6月は崩落箇所の改修工事をしました。</p> <p>チラシをカタクリ山では竹の筒に入れて自由にもって行ってもらいました。また石巻地区市民館にチラシを掲示してもらいました。</p> <p>総事業費：471,000円（内補助金：300,000円）</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>会員の輪が草刈り、遊歩道の整備等により深まりました。</p> <p>26年度の会員は11人でしたが、27年度は1人増えます。</p> <p>カタクリ山の崩落部の改修ができ、これで全ての遊歩道から安全に見学できるようになりました。</p> <p>広報とよはしに案内図を掲載してもらい、またチラシの掲示により多くの見学者が訪れました。</p> <p>今年度からは、豊橋市の観光振興課のご協力により仮設トイレも設置でき長時間の見学でもトイレの心配もなく充分鑑賞してもらえたと思っています。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>今後は、大雨により斜面の崩落を防止するために排水路の整備や持続的な草刈り、遊歩道の整備を行い、また見学者が休憩できるように丸太椅子を設けたい。</p> <p>さらにもう少し地元の会員を増やしたい。</p>



事業名	みんなで知ろう食物アレルギー
団体名	RIN RIN♪豊橋アレルギーっ子の会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>平成25年度に引き続き、多職種参加型の食物アレルギー合同勉強会を開催した。 勉強会の目的は「食物アレルギーに関する正しい知識の共有。緊急時の対応や準備の促進」。 対象者は、患者家族をはじめ、医療関係者、行政、園・学校関係者にも参加いただきました。</p> <p>内容は 午前の部（乳幼児編） ・保健所こども保健課の取り組み報告 ・保育課の取り組み報告 ・村田浩章医師による講義 午後の部（学童編） ・教育委員会保健給食課の取り組み報告 ・消防本部消防署の取り組み報告 ・杉浦至郎医師による講義 開催日 平成27年1月11日 開催場所 豊橋市民病院 参加人数 午前の部119人・午後の部83人 (1日通しの参加者37人)</p> <p>総事業費：154,938円（内補助金：103,000円）</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>近年のアレルギー診療の変化や、情報が混在している状況の中、最新の正しい食物アレルギーの情報を提供できたと考えられる。</p> <p>また、豊橋市の行政担当者から食物アレルギーに対する取り組みについて報告いただき、現状を知ることができた。</p> <p>多職種の方に参加いただくことで、自分の管轄のほか、他部門での取り組みについても知ることができ、互いの情報共有にも繋がったと考えている。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>食物アレルギーの取り組みは、今後も変化していくことが考えられる。また、治療などの情報に対しても、インターネットなどの様々な情報が流れ、親御さんも混乱しやすい。</p> <p>今後も定期的に勉強会を継続して、対応の現状や課題を知るとともに、最新で正しい情報を提供していきたい。</p>



事業名	野良猫を減らし、街づくりを行う。猫の殺処分頭数を減らす。
団体名	あにまるあいず

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容)</p> <p>※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>4月13日に、サイエンスコアにて雑貨市に参加して、パネル展と譲渡会と講演を実施。</p> <p>生活衛生課の依頼により、6月2日に津田保育園、6月5日にくるみ保育園、6月11日に牛川東保育園にて、「動物ふれあい教室」に協力。</p> <p>9月23日の動物愛護デーのイベントで、ほいっぴにて「動物ふれあいコーナー」に協力。</p> <p>その他、譲渡会とパネル展を17回実施。</p> <p>3月14日に生活衛生課の犬猫登録会にて譲渡会を実施。</p> <p>生活衛生課の依頼により、市民の野良猫についての相談を5件受けた。</p> <p>猫の保護頭数・行政からの引取頭数55頭。</p> <p>猫の譲渡頭数27頭。</p> <p>乳飲み子の子猫を育てた後、行政へ返還した頭数17頭（返還後、行政にて里親探し）。</p> <p>野良猫の不妊・去勢手術頭数30頭。</p> <p>総事業費：1,347,391円（内補助金：300,000円）</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>平成26年度、新たに協働した出来事が2件あった。</p> <p>1つ目は、3月14日に行った生活衛生課の犬猫登録会にて譲渡会を実施させていただいたことである。平成27年度以降も1年に4回（動物愛護デーを含む）実施を予定しており、今後の参加も依頼されている。</p> <p>2つ目は、「乳飲み子の子猫を引き取り、離乳した後で行政に戻す」という流れを作ったことである。その後は行政で里親探しをする。殺処分される猫の9割はこういった乳飲み子で、この流れをやっていかないと殺処分ゼロには近づけない。育てた子猫の全頭を当会で里親探しをするのは困難なため、当会で里親探しする場合と、行政に戻す場合の2通りのパターンを設けた。</p> <p>保護・引取頭数、譲渡数は、3年間で一番多い。</p>

<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>野良猫の不妊・去勢手術は、猫の殺処分の減少への一番の道だが、ボランティアだけがやるには限界がある。今年度は生活衛生課より依頼された、市民からの野良猫の不妊・去勢手術の相談に対応した。今後も野良猫を不妊・去勢手術する方法があることを啓蒙し、市民の相談に出来る限り対応したい。</p> <p>また、新たな試みとして平成27年度からは、保健所から犬猫の引き取りをしたいと考えており、話を進めている。今は「団体譲渡」というシステムはないが、当会が前例を作り、最終的には当会だけでなく他のボランティア団体、あるいは個人ボランティアが引き取れるシステムになることを目指したい。</p>
--	---



事業名	在宅高齢者のふれあい健康増進コミュニティ
団体名	特定非営利活動法人 オアシスG・J・B

項 目	内 容																																				
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>コミュニティサロン「オアシス」を開催した。 70歳以上の高齢者対象。 月1回（8月・1月を除く）第2土曜日開催。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月12日</td> <td>46人</td> <td>ビンゴ・健康体操</td> </tr> <tr> <td>5月17日</td> <td>41人</td> <td>ビンゴ・健康体操</td> </tr> <tr> <td>6月14日</td> <td>37人</td> <td>サイコロゲーム・健康体操</td> </tr> <tr> <td>7月12日</td> <td>63人</td> <td>サイコロゲーム・終活講話</td> </tr> <tr> <td>9月13日</td> <td>52人</td> <td>サイコロゲーム・健康体操</td> </tr> <tr> <td>10月11日</td> <td>43人</td> <td>間違い探し・健康体操</td> </tr> <tr> <td>11月8日</td> <td>49人</td> <td>サイコロゲーム・健康体操</td> </tr> <tr> <td>12月13日</td> <td>58人</td> <td>防犯講話・法律相談</td> </tr> <tr> <td>2月14日</td> <td>53人</td> <td>AED講習</td> </tr> <tr> <td>3月14日</td> <td>48人</td> <td>ビンゴゲーム・健康体操</td> </tr> <tr> <td></td> <td>490人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※毎回実施：誕生祝・カフェ</p> <p>総事業費：400,021円（内補助金：152,000円）</p>	開催日	参加者数	内容	4月12日	46人	ビンゴ・健康体操	5月17日	41人	ビンゴ・健康体操	6月14日	37人	サイコロゲーム・健康体操	7月12日	63人	サイコロゲーム・終活講話	9月13日	52人	サイコロゲーム・健康体操	10月11日	43人	間違い探し・健康体操	11月8日	49人	サイコロゲーム・健康体操	12月13日	58人	防犯講話・法律相談	2月14日	53人	AED講習	3月14日	48人	ビンゴゲーム・健康体操		490人	
開催日	参加者数	内容																																			
4月12日	46人	ビンゴ・健康体操																																			
5月17日	41人	ビンゴ・健康体操																																			
6月14日	37人	サイコロゲーム・健康体操																																			
7月12日	63人	サイコロゲーム・終活講話																																			
9月13日	52人	サイコロゲーム・健康体操																																			
10月11日	43人	間違い探し・健康体操																																			
11月8日	49人	サイコロゲーム・健康体操																																			
12月13日	58人	防犯講話・法律相談																																			
2月14日	53人	AED講習																																			
3月14日	48人	ビンゴゲーム・健康体操																																			
	490人																																				
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>補助事業の成果として上記内容を充実させることができた。 近隣の高齢者の参加もみられ良かった。 また地産の野菜・果実の販売は概ね好評でした。</p>																																				
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>最寄りのデイサービス施設とのタイアップの動きもあり良好。 子どもとのコラボについては、外国籍児童との遊び方のギャップに課題が残る。 また若手ボランティアの育成に努めたい。</p>																																				



事業名	第7回ゆいフィールコンサート
団体名	特定非営利活動法人 福祉住環境地域センター

項 目	内 容
<p>事業の概要 (取組みの内容)</p> <p>※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>日時 2014年8月2日(土) 1:30PM 開場 2:00PM 開演 会場 豊橋市民文化会館(豊橋市向山大池町20-1) 大ホール 参加者 282名(有料参加者168名・無料参加者114名)</p> <p>今年のテーマは「雨ニモマケズ今を生きる」 東日本大震災から3年。未だに人々に残った傷はいやされぬまま周りの空気は記憶になろうとしています。宮沢賢治が生きた時代は、今と同じように三陸の地震から関東大震災と続いた時代。彼が生まれ育った背景に現在に通じる彼の生き方を感じます。彼の作品に込めた想いやメッセージを今生きる意味を地域でみんなで考えてみたいと思います。</p> <p>第1部「雨ニモマケズー東北からのメッセージ」</p> <p>第4回とよはし音楽祭銅賞受賞曲「思い出の花」(ロココ作詞作曲)他2曲。ロココさんが熱演。名古屋市在住。このゆいフィールコンサートを始めるきっかけを作った人。しばらく体調を崩し連絡が取れない時期もありましたが見事復活。「紆余曲折」自費出版。</p> <p>地元豊橋の小澤理恵子さんがスイングする。柳瀬けいこさんの音楽レッスンで知り合い今回のフューチャーが決まる。柳瀬けいこさんとスーパーウイローズが賢治の星めぐりの歌などを熱く熱唱。</p> <p>藤原良江さんが宮沢賢治の代表作雨ニモマケズを朗読。</p> <p>音楽療法士の神谷真理子さんとシャンソン歌手市川いづみさんとその仲間がジョイント。東日本大震災応援歌「友～旅立ちの時」「花は咲く」など年齢に関係なく世代を超えて熱唱。</p> <p>第2部「雨ニモマケズー未来に向けて」</p> <p>第4回とよはし音楽祭グランプリ受賞「あい」(土屋衣代作詞作曲) 名古屋市在住 土屋衣代さん。友人たちの励ましで歌と出会い今日に。新バンドとともにオリジナル曲2曲も「空のち気分」「涙のむこう」披露。</p> <p>松本みどりさん。昨年に引き続き参加。松橋貴さん待井裕太さんなどプロ・セミプロを含めた仲間が彼女のフルートを支えます。</p>

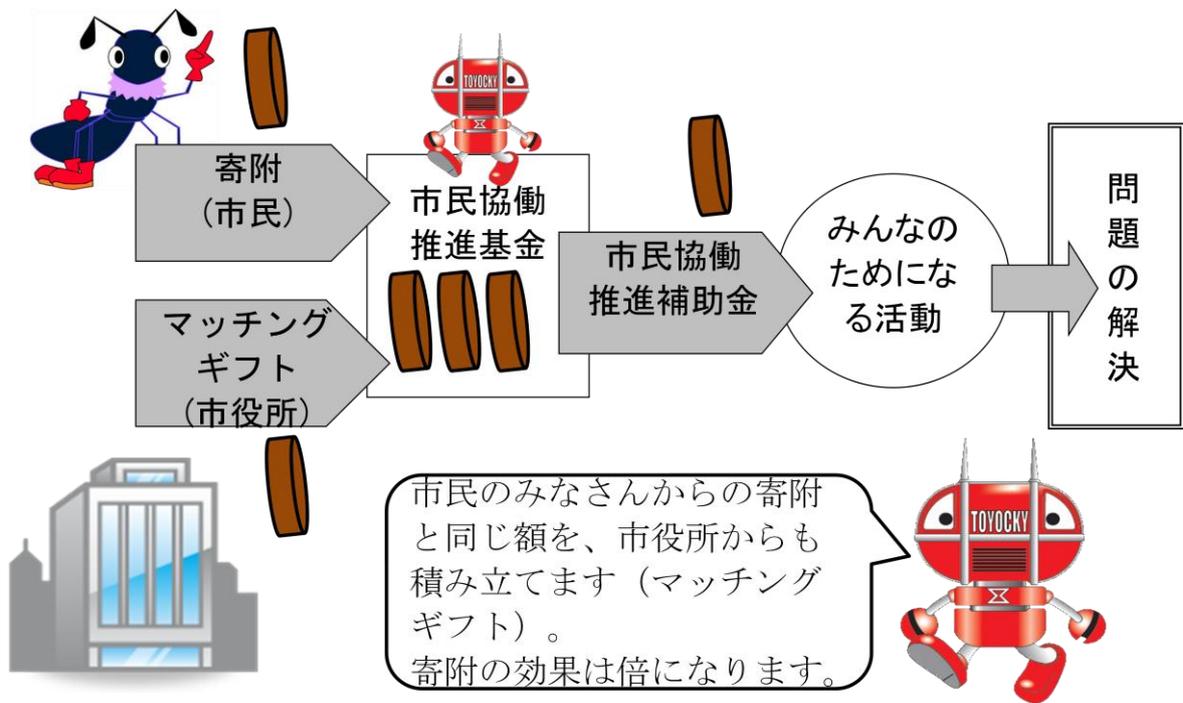
	<p>加藤雅子率いる WAC 合唱団 第1回とよはし音楽祭稲田貴久さんから法人へのプレゼント曲「笑顔の花」等を歌いました。</p> <p>総事業費：554,386円（内補助金：277,000円）</p>
<p>事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）</p>	<p>第7回を迎えるゆいフィールコンサート。障がい者と市民が一緒に作り上げ、一定の評価は受けていると思いますが、一般市民レベルのイベントとしては今一步のところでは。</p> <p>第1回約230名、第2回約450名、第3回約460名、第4回約420名、第5回約400名、第6回約370名が参加。しかし今回は282名と少し下がってしまいました。大変残念です。</p> <p>舞台の演奏や歌唱は、回を重ねるごとに、テーマは違っていても自画自賛かもしれませんが感動の舞台に仕上がっています。</p> <p>でも、ゆいフィールコンサートは「感動」を伝えるコンサートであると同時に市民参加が不可欠に思います。障がい者の理解を進めるためには一緒に汗を流したり、彼ら彼女たちを良く知ることから始まります。毎年、運営や企画は新しいメンバーも加わるので、特に当日の運営は、反省ばかりですが、それも一人一人のチャレンジする力を育てる意味では、少しの失敗も次に一人一人が体験として育っていけばと感じています。</p> <p>どう変わったかは、立場により違いはあると思いますが、障がい者も市民も少しづつ成長していることは間違いなく感じています。但し、入場者減については、来年は更なるプロモーションの充実に努めたいと思います。</p>
<p>今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）</p>	<p>同じように市民と障がい者が一緒に作り上げるコンサートとしては、とっておきの音楽祭（仙台市）があります。3年程前に東京で彼らと初めて出会いその存在を知ったわけですが、それ以後は、仙台市と豊橋市でこのタイプの日本の2大音楽祭に育っていけばいいなと感じています。彼らは街ぐるみで観客動員約30万人、バンド数300（3,000人）、ステージ25と規模は違いますが、我々も豊橋市が規制緩和して、協力頂ければ、向山公園内豊橋市民文化会館一体で夏のコンサートとして定着していけば、障がい者と市民の交流が自然と深くなり、地域の障がい者理解、偏見の解消が進むと思います。</p> <p>平成27年度も、第8回ゆいフィールコンサートを8月1日（土）豊橋市民文化会館大ホールで開催を予定しています。豊橋市の規制緩和と広報支援そして多くの市民の皆様の応援を期待しています。</p> <p>当日の様子は http://www.barrinavi.jp/ バリナビTVで放映予定です。</p>



事業名	外国人の子どもの教育支援ネットワーク作り
団体名	豊橋外国人児童生徒教育研究会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>学習会 26年4月12日 参加者28人 「国際学級 これさえできれば」 外国人児童生徒教育講座 第1回 26年5月17日 参加者30人 「特別の教育課程による日本語指導について」 講師：築樋博子（T-NET） 助言者：松本一子（愛知淑徳大） 外国人児童生徒教育講座 第2回 26年6月7日 参加者19人 「個別の指導計画を書いてみよう」 講師：築樋博子（T-NET） 外国人児童生徒教育講座 第3回 26年7月19日 参加者23人 「実績の告会をしよう①」 講師：築樋博子（T-NET） 助言者：齋藤ひろみ（東京学芸大） 外国人児童生徒教育講座 第4回 26年8月9日 参加者20人 「日本語指導の教材を作ろう」 講師：三元聰江（元岡山大学） 外国人児童生徒教育講座 第5回 26年12月6日 参加者29人 「実績の告会をしよう②」 講師：築樋博子（T-NET） 助言者：齋藤ひろみ（東京学芸大）</p> <p>「外国人親子支援マップ」作成会議を数回 「 // 」に載せる団体への問い合わせ等 「 // 」の作成</p> <p>総事業費：452,939円（内補助金：180,000円）</p>
<p>事業の成果等 (事業実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>今年度から豊橋市の小中学校で始まった「特別の教育課程」について概略を知り、少なからず実践に移すことができた。</p> <p>日本語も含めて4言語で「外国人親子支援マップ」を作ることができた。困ったときの指針になる。</p> <p>支援マップを作る過程で、ポルトガル語以外の言語は、支援団体が少ないことに気付いた。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>平成26年度までの3年間に異なる角度から行ってきた他のグループとの連携を今後どう深めていくか。</p> <p>平成27年度は、他の補助金の申請をしなかったため、どのような活動をしていくか。</p>

トヨッキー基金



【アーリーくんが寄附してくれたお金は、倍になって「みんなのためになる活動」に使われます】
 (市民協働推進補助金はトヨッキー基金 (市民協働推進基金) から交付されています)



豊橋市 文化市民部 市民協働推進課

〒440-8501

豊橋市今橋町1番地(西館4階)

TEL : 0532-51-2483

FAX : 0532-56-5128

MAIL : shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp